



職サークル

ギャザリング 開催報告

20230831

<テーマ>

優秀さを語る | つきしま村塾

参加：学生 45名、企業 23社34名、パフ社員 16名

ファシリテーター：上口

内容(概略):

1. トークタイム1:自分が思う「優秀な人」はどんな人？
2. トークタイム2:自分は将来どんな人になりたい？
3. 宣言

当日の模造紙(miro):

※今回はレイアウト崩れのため添付を断念します・・・！

トークタイム1:自分が思う「優秀な人」はどんな人？

・要領よく進めるなどの能力だけではなく、人としての土台・基礎があることも大事。**優秀さは場によって変わるので、成長の余地がある人こそが優秀なのは。**

・コミュニケーション力が高い＝難しいことをかみ砕ける、全く知らない人にも端的に分かりやすく伝えることができる人

・相手の状況を想像し、先回りして動けるなどの**相手視点**→周りをヤル気にさせられる

・**自分の失敗を認め**、他の人の意見をもとに成功や解決に近づけられる人

・**ただ賢い人＝優秀ではない**(難しいことを難しく伝える先生)

・人に対しての優秀さという観点で、ヒューマンスキルの高さ

・勉強ができる＝優秀ではない

・**優秀って、求められることによって変わる**

・いかに勉強して、賢くとも、それを**アウトプットしなければ価値にならない**。逆に発言する力が強ければ能力が高くなくとも出世することもある。

・相手に及ぼす影響が優秀さの(想像力がある、周りを見ることが出来る、視野が広い)

・社会人>スキルが高くても優秀ではないのか？→**学生「仕事は一人で出来ないから、還元できるのが大事」**

・**自分がないものを持っている＝優秀**

・そもそも人を優秀かどうかという視点で見たことがない 😊

トークタイム2:自分は将来どんな人になりたい？
～あなたがなりたい姿≡あなたが思う優秀さ～

・行動できる人が優秀 → 自分にストイックじゃないと行動できない → 自分との約束を守る(自分を大切にしている状態)

・目的を見失わないことを大事 → 就活でも会社に入ることを目的にせず、これからの将来を歩いていく、どう生きるかを見失わずに就活したい

・**感情は忘れず、気分に左右されず、熱量をもって働く！！**

・感情は熱量をもって取り組んでいるからこそ出てくるもの

・自分の機嫌は自分で持つ

・**感情に左右されず淡々と仕事できる人が優秀だと思ってましたが、熱く仕事することは大切だよな～と気づきました。感情と気分(機嫌)はちがうのですねー深いー**

・自信を持つことは大事？ → 初めから自信をもって働くことは難しい。**自信は持たなくても、熱量はもって働けるはず！**→**自分の就活の軸にしたい！**

・社会人もまだ自分の得意を見つけていないかも！

・社会人の「将来なりたい像」を聞いてイメージがふくらみました

・家族に誇れる大人でありたい(社会人) → とても共感したので、自分も大切にしたい(学生)

・**学生の「周りがみんな優秀」から深掘→「自分がないものを持っている人」であるが、実はその優秀さは自分のなりたい像とイコールではないという気づき。**

・みんな違って、みんないい！

・それぞれに秀でたことがあり、それぞれに個性や得意なことがある。一緒に働いていて安心できる存在になりたい！！という自分の将来像が見つかった。

学生の気づき・感想・チャット&アンケート抜粋

・優秀ということに対して自分のなかで固定の考えがあったのですが、優秀さは場合によって変化していくということに気付いて良かったです。

・周りと比べて自分の劣っている部分を見るだけではなく、自分が優秀なのではないかと思う部分を見つけることを心がけようと思いました！

・私は優秀さを常に兄弟や他人と比べて劣等感を持っていましたが、**価値観や環境などはかるものさしで変わることを知れて自分を持ちつづけようと思いました。**ただ様々な価値観に触れすぎて現在キャパオーバーです。

・**誇りを持って働くことが大事という意見や、自信を持って働くのは難しいけど熱量を持って働くことが出来るというのは新鮮でした！**じゃあどんな仕事だったら自分は熱量が持てるんだろうと思って考えてました

・**ここに集まっている社会人の方は働いていて苦しい、**といった感じではなく、**もっとこう生きたいなど目標を感じられて働くことは憂鬱なだけではないことがわかりました！**

・人事の方のお悩みも聞けてちょっと親近感がわいた！

・将来に、就活が終わって働いてから「どういう人になるか」を全く考えたことがなかったので就活軸を考える上で重要だと思ったので、考えたいと思いました。

・就活に対しての恐怖心が薄れてきました。自分には何もないないので、どうしたらいいのか分からないと思っていましたが、自分にも生かせる強みがあるのかもしれないと思えるようになりました。

・自分の意見をしっかりとと言える雰囲気、人事の人との壁がなく、とても学び深い楽しい時間を過ごすことができました。

企業の気づき・感想・チャット&アンケート抜粋

・みんな、伸びしろしかない！

・優秀という自分で言うには気が引けてしまうけど、個性の延長としていい影響を与えられることはすべからず優秀さだと思います。

・学生さんがすでにしっかりと自分のことを理解されているのが印象的でした。いろんな人の考えを知れる面白い機会でした！

・自分が優秀だと思う人は自分にはないものを持っている人。そこを無理に目指す必要はない。自分の個性、得意なことを探そう！

・熟考力がある学生が多いという印象を受けました。企業の大人がいる中で自らの意見を発表することでさえ勇気の必要なことだと思いますが、さらにディスカッションすることができ、またこれまでの自分の考えとの違いを検討できているところが、とても素敵でした。

・社会人になったことがないので、仕方がないと思いますが、仕事をすることに対しての不安が大きすぎる気がしました。プライベートは天国で仕事は地獄みたいな～払拭させないといけないなと思いました。

・「働くこととはどういうことなのか」という問いを真剣に考えながら就職活動をされていることが伝わってくる方が非常に多かったです。

運営者メモ:

参加者総勢95名！過去最大規模での開催となったギャザリング「優秀とはを語る」でした。ややルームの人数が多く、もっと話したかった！という想いを残してしまったことは反省ですが、一方でいろいろな人の価値観を聞き、視点が一気に広がった時間でした。

共感できることも、そうでないことも。たくさんの価値観に振れると、もやもやしたりワクワクしたりしますよね。視点が増える

就活をしている学生さんは、「企業に優秀な人間だと思われるように振舞おう」と一律の人物像に自分を近づけてしまう人が多くいらっしゃると思いますが、「優秀」は時と場合、場所によって変わること、頭の良さやスキルではない「人としての魅力」こそが優秀さであったりもするということに気づけたのではないのでしょうか。

すべての学生さんに、自分らしく、でも成長意欲をもつてのびのびと社会に巣立って欲しいと心から願う夜でした。

次回もお楽しみに！！

※今回は職サークル運営事務局株式会社パフ入社3年目の上口が企画・司会をつとめました。彼らしく、のびのびと進めてくれた場の雰囲気がとても良かったなと感じます(私が進める時のような圧がないですねw)。良かったよ！と思っていただけた方は、是非上口までお声かけください♪

職サークル企画責任者 平原葉子